

基隆市的概要

基隆市概要

○ 歴史

基隆は、清朝中頃から豊富な鉱産物の産出などにより急速な発展を遂げた都市であり、日本の統治(1895年)以降は、計画的に築港工事が進められた基隆港を中心に、近代港湾都市として発展し。

○ 地勢

台湾の最北端に位置し、北は太平洋を臨んでいます。湾は水深が深く、内陸に湾曲した天然の良港です。三方を山に囲まれ、総面積132.76km²のうち、95%が丘陵地です。

○ 政治・経済・文化

戦前の日本が残した都市基盤を基に、軍民共用の港湾都市として発展し、海軍威海營區や国立海洋科学技術博物館が設置されています。

その歴史から、スペイン、オランダ、日本統治時代の様々な遺跡が残り、多様な文化が融合した景観が見られます。

基隆港は、台湾第2位の貨物取扱量を誇

るとともに、基隆港周辺の整備による観光化が進められ、大型クルーズ客船等の船舶による観光客数が台湾でトップの座を獲得するなど、国際的なターミナル港として更なる発展が見込まれています。

○ 人口 約37万人

○ 気候

年間平均気温は約22度で、温暖湿潤な気候です。



○ 歴史

基隆從清朝中葉開始，因開採豐富的礦物而急速成長，日治時代(1895年)，因計劃性的建設基隆港築港工程，以基隆港為中心，逐漸發展為近代化的城市，1924年升格為台北州的州轄市。

○ 地形

位於台灣北部、北臨太平洋的城市。基隆三面環山，總面積132.76平方公里，其中95%為丘陵地。基隆港不但水深而且是向內陸灣入的港口，港埠形勢渾然天成，為不可多得之天然良港。

○ 政治、經濟、文化

二戰結束後，基隆以日治時期遺留下來的都市建設為基礎，發展成軍民共用的港灣城市，並建設海軍威海營區、國立海洋科學技術博物館。

因歷史淵源，基隆擁有西班牙、荷蘭、日治時代的多種遺蹟，隨處可見融合多樣文化的景觀。

基隆港不但以貨物吞吐量位居台灣第二為傲，同時更因基隆港周邊完善的基礎建設，使其成為觀光勝地。此外，由於大型遊輪等客船的停靠，遊客人數亦位居台灣第一，未來會作為國際港而更加繁榮發展。

○ 人口 約37萬人

○ 氣候

年平均氣溫約22度，氣候溫暖潮濕。

